

学校施設等における吹き付けアスベスト等 対策状況フォローアップ調査等の結果について 文部科学省



文部科学省では、子どもたちなどの安全対策に万全を期すため、平成 17 年 7 月末から「学校施設等における吹き付けアスベスト等使用実態調査」を実施しています。

この度、平成 21 年 10 月 1 日時点の結果が取りまとめられました。

概要は、以下の通りです。

1) 調査内容

全ての学校施設等機関に対し、平成 21 年 10 月 1 日時点の使用実態及び対策状況についてフォローアップ調査を実施。なお、この調査では「石綿等の分析調査の徹底」の通知に基づき、トレモライト等の再分析調査の必要があった機関の状況も含めて調査を実施しています。

2) 調査結果

全学校施設等機関:144,344 機関

調査完了率:98.3%≪調査未完了機関数:2,485 機関(平成 21 年 10 月 1 日時点)≫

アスベスト等の粉じんの飛散によるばく露の恐れのある室等を保有:

55 機関^{*1}(平成 21 年 10 月 1 日時点)

※1:使用禁止等の応急措置は実施済

3) 今後の対応

調査が未完了の機関に対しては、通知文を発送し使用実態調査の早期完了の徹底を要請するとともに、国公私立小中学校等の対策工事のための補助、及び対策状況等のフォローアップ調査を引き続き実施。また、各種会議や研修会等で、適切なアスベスト対策について継続的な周知。

当社は、アスベスト分析に短納期での対応が可能です。疑問点やお困りのことがありましたらお気軽にお問い合わせください。

資料 2009 年 12 月 21 日付 文部科学省HP

品質検査箇所 守屋貴志